

第 1 回

学校運営委員会 会議録

資料3-1

提出日 令和 7年 6月 20日

学校名		野幌小学校		委員長名		齊藤慶一											
月 日		5月21日（水）		（任命した）委員数		10		内、出席者数		9							
時 間		18：30 ～ 20：30			会 場		野幌小学校ホール										
会議の周知方法で該当するものに○をつけてください。 ホームページ（○）、学校便り（○）																	
右の2項目に該当する場合は○を記入してください。 給食試食（ ）、授業参観（ ）																	
傍聴人がいる場合、以下に記入してください。いない場合は、空欄で結構です。																	
傍聴人		○ 人		内訳		保護者		人		地域住民		人		その他		人	

- ・ 当日の議案書及び会議録を1部、提出してください。（規則第15条による）
- ・ この書式の行数等は適宜変更して構いません。

【出された主な意見、結果等を簡潔に記載してください。】

□働き方改革の観点から、「学校便り」の地域配布を取りやめ、ホームページ掲載のみにしてはどうかという意見が出た。一方で、紙媒体の方が内容が伝わりやすく、ホームページを見ない方も多いため慎重な検討が必要との指摘もあった。

□地域の方々の協力があってこそ学校行事が成り立っていることを、子どもたちに伝え感謝の心を育む教育が必要。また、保護者にもその点をしっかりと伝えてほしい。

・感謝とは、押し付けるものではなく、心の中で自然と芽生えるもの。そして、それを形にして伝えることで、感謝の輪は広がっていくもの。子どもたちには、いつか大人になった時に「自分たちは恵まれていた」と感じ、その恩を次の世代へ返すことの大切さを実感してほしいと願っている。

□特認校には特別支援学級が設置されておらず、個別支援体制にも限りがあるため、「少人数＝手厚い支援がある」と誤解されないよう、入学希望の家庭には丁寧な説明が必要。

□野幌小学校が特認校として存続している経緯や、地域の歴史的背景についてもしっかりと伝えていく必要がある。

□地元（本来学区）の子がいなくなったら野幌小はなくなってしまうのだろうか。

□特色ある教育活動を今後も継続してほしい。

□小中連携の具体的な取り組み内容について知りたいとの要望があった。

□運動会は引き続き「昼食なし・午前中のみ」の開催とするのか確認したい。

